

おだか

第7号

2015

平成27年6月22日(月)

南相馬市

小高小学校

学校だより

パパはマジシャン



開演を待つ4～6年生

15日(月)、4～6年生を対象に南相馬市民文化センター「ゆめはっと」で行われた劇です。

マジックショーの最中に妻の死に出会い、そのトラウマのためショーをやめてしまった父と、父のため支配人にショーの仕事を依頼する、目の見えない主人公パトリシアを軸とした物語です。ライバルだったメアリーとのマジック対決など、本格的なマジックショーもあって見所満載です。劇団「芸術座」の作品です。



オズの魔法使い

16日(火)、本校の仮設体育館で1～3年生を対象に実施したミュージカルです。音楽と踊りが入った舞台に、子どもたちは、じっと見入っていました。この劇は、日本赤十字社の支援事業の一環として企画されたものです。

元気いっぱい女の子ドロシーが、「カンサス州にもどりたい」という願いをかなえてもらうため、魔法使いオズのいるエメラルドの都をめざします。お供は、脳みそが欲しい「かかし」、心が欲しい「ブリキのきこり」、勇気が欲しい「ライオン」の3人です。3年生の河村颯斗くんが「始めのことば」を、加藤湧吏くんが「感想」を述べてくれました。劇団ポプラ座の作品です。



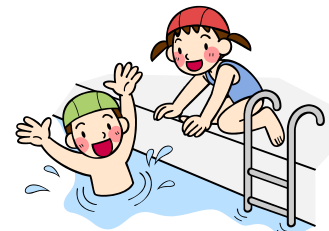
オズに願いを伝えるドロシー

上真野小プール清掃

6月14日(日)早朝、時折雨がぱらつく天候でしたが、上真野小プール清掃に小高区4校のPTA役員が参加しました。おかげさまで、7月からの水泳学習が始められる環境が整いました。

授業でのプール使用は夏休みを挟んで計4回行います。また、夏休み中の水泳課外授業は12回を予定しています。

ちなみに、文部科学省では、水泳の学習で「学年に応じてこれくらいの技能を身につけてほしい」というものを〔例示〕という形で示しています。5、6年生ではクロールと平泳ぎで25～50m程度を目安にしています。整えていただいた環境を生かし、子どもたちにがんばらせたいと思います。ご協力ありがとうございました。



俳句教室

今年も、正木ゆう子先生をお迎えして、3年生を対象に、俳句教室を行いました。最初に、俳句を作るための材料として、心のつぶやく言葉をたくさん集めるための方法について正木先生からお話をうかがいました。

その後、校舎の周りを散歩しながら、植物や昆虫を見たり、風を感じたり、朝食の献立を思い出したりして、心に浮かんだ言葉をたくさんメモに取りました。そして、いよいよ教室にもどって俳句づくりです。

正木先生がお持ちになったのは、「桑の実がついた桑の枝」と「藍染めの藍の葉」です。藍染めの液もペットボトルに入れて持参され、これを使って染め出した絹のハンカチも見せてくださいました。季節を感じるみずみずしい緑でした。できあがった俳句は、どれも子どもらしい個性豊かなものになりました。以下に3句、紹介します。

ハチさんが	花のみつすう	おいしいの	菜奈
赤オクラ	もうすぐできる	おいしいよ	慶人
ハチのすは	すは一つだけ	あなたくさん	成吾

※ 他の作品は「3年 学級だより」で紹介しています。



俳句のお話をする正木先生

外国語活動の授業

小学校には、外国語活動の時間があります。この時間は、外国語を通じて、言葉や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目標としています。

南相馬市では、外国語活動の時間に担任だけで授業するのではなく、ALT（外国語指導助手）を雇用し、授業の補助に当てています。二人が一緒に授業するので、方法や役割など、計画を立てて授業を行います。



サイコロゲームで自己紹介

英語教育が今後ますます強化されることが予想されていますが、授業をどのように進めたら、子どもたちが、自分から話しかけたり話を聞いたりできるようになるかについて勉強する会が、17日（水）に小高小で開かれました。

担任の千葉先生とALTのジョー先生が、他校の先生方の前で、それぞれの役目を工夫した授業を行いました。「進んで好きなものを尋ねたり答えたりできる。」ことがねらいでしたが、子どもたちは、「Do you like ~」という話型を使い、参観の先生方にも積極的に話かけていました。

誰が何を好きなのか推理する

